

ロジャー ネックループ

取扱説明書



roger



A Sonova brand

PHONAK
life is on

目次

1. ようこそ	5	7. コンプライアンス情報	30
2. ロジャー ネックループについて	6	8. 記号の情報と説明	39
2.1 互換性	7	9. 安全に関する重要な情報	43
2.2 機器の説明	8	9.1 危険警告	43
2.3 同梱のアクセサリ	9	9.2 製品の安全に関する情報	46
2.4 LED とディスプレイのアイコン	10	9.3 その他の重要な情報	47
3. はじめに	14	10. お手入れとメンテナンス	48
3.1 充電	14	11. サービスと保証	49
3.2 装用	17	11.1 日本国内における保証期間	49
3.3 ロジャー マイクロホンへの接続	18	11.2 国際保証	49
3.4 音量調整	20	11.3 保証適用範囲	50
4. 音声用に USB を使用	21		
5. 受信機の機能状態の確認	23		
5.1 ヘッドフォンの接続	23		
5.2 最大音量の設定	25		
6. トラブルシューティング	26		

1.ようこそ

フォナックのロジャー ネックループをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

ロジャー ネックループは、使いやすく手ごろな価格の Roger™ (ロジャー)受信機です。T-コイルを備えた補聴器やサウンドプロセッサ(フォナック製または他社製)との併用に適しています。ロジャー ネックループは、フォナック製のロジャー マイクロホンと互換性があります。

取扱説明書をよくお読みいただき、ご使用の機器についてご理解いただき、最大限にご活用ください。ご不明な点は、担当の聴覚専門家や販売店にお問い合わせください。

この取扱説明書は以下のモデルに有効です。

ワイヤレス モデル

ロジャー ネックループ(02)

ロジャー ネックループ(03)

CE マーク取得

2020年

2020年

フォナック - life is on

www.phonak.com



2. ロジャー ネックループについて

この聞こえのソリューションは、ロジャー ネックループ、補聴器/サウンドプロセッサ、ロジャー マイクロホンの3つの主要要素で構成されます。

ロジャー マイクロホンは、話し手の声をロジャー ネックループを介して補聴器/サウンドプロセッサにワイヤレスで送信します。話し手の声を大きく明瞭に聞くには、補聴器/サウンドプロセッサでT-コイルを有効にするだけです。

2.1 互換性

ロジャー ネックループから会話音を受信するには、補聴器/サウンドプロセッサにT-コイルが搭載されている必要があります。補聴器にT-コイルが搭載されているか不明な場合は、聴覚専門家にお問い合わせください。

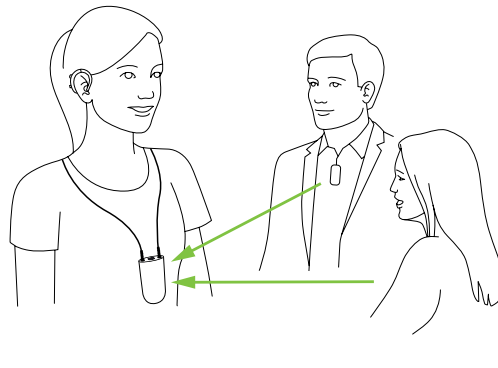
話し手の声を拾うには、互換性のあるロジャー マイクロホンも必要です。

聞き手

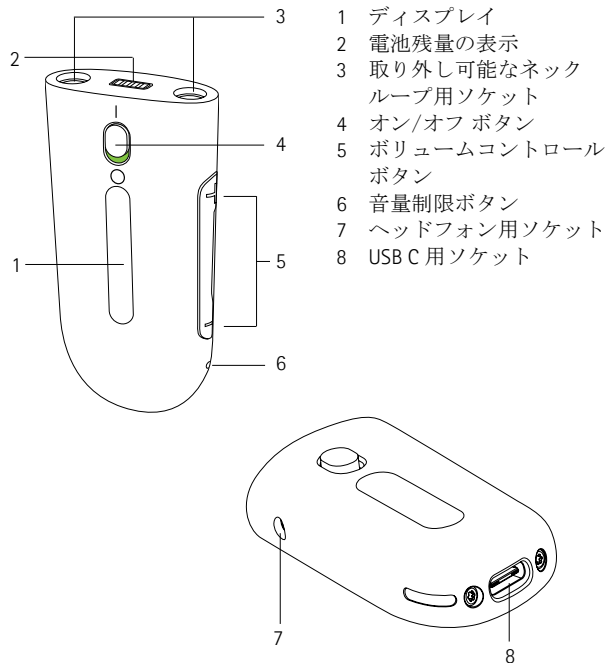
補聴器とロジャー
ネックループを使用

話し手

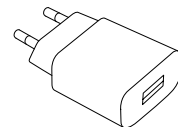
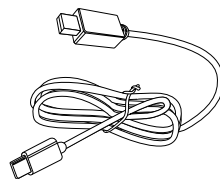
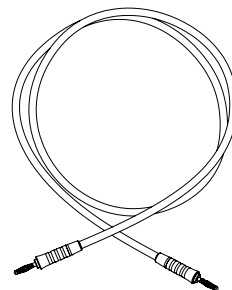
ロジャー マイクロホン
を使用



2.2 機器の説明



2.3 付属アクセサリー





2.4 LED とディスプレイのアイコン


動作

	ディスプレイと電池残量表示が数秒間点灯します。	ロジャー ネックループのスイッチが入り、使用できる状態になっています。
	接続アイコンがディスプレイに表示されます。	ロジャー マイクロホンがロジャー ネックループと正常に接続されています。
	接続解除アイコンがディスプレイに表示されます。	送信機が接続されていないか、マイクロホンがオフになっているまたは範囲外にあります。

音量

	音量レベルが、最小から最大(バーが白で塗りつぶされた状態)に表示されます。	音量ボタン(+/-)を押し、段階的に音量を増減して調節します。
	音量制限が有効になっています。	音量は横線を超えて増大することはできません。

USB ポート

	音符アイコンが表示されます。	ロジャー ネックループが、音声インターフェースとしてUSBデバイスに接続されています。
---	----------------	---

電池の状態

	4つのLED バーすべてが緑色に点灯します。	電池残量が81～100%です。
	4つのLED バーの1つが緑色に点灯します。	電池残量が5～20%です。
	1つの赤いLED バーが点滅します。また、ディスプレイで線の引かれた電池アイコンが点滅します。	電池残量が5%未満です。デバイスを充電してください。

充電

	ディスプレイにアイコンが3秒間表示され、消えます。	ロジャー ネックループは充電器に接続されており、充電中です。
	1本のLED バーが緑色に点滅します。	電池の充電状態が20%未満です。
	LED バーのうち2本が緑色に点灯し、1本が緑色に点滅します。	電池の充電状態が56～80%です。
	4本のLED バーが緑色に点灯します。	電池が完全に充電されています。

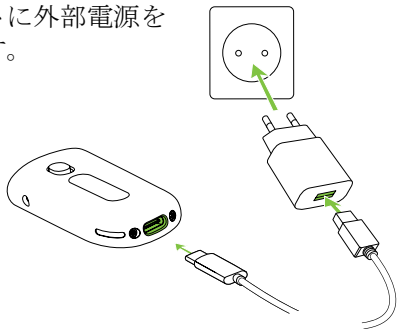
3.はじめに

3.1 充電

ロジャー ネックループを最初に使用する前に、完全に充電してください。

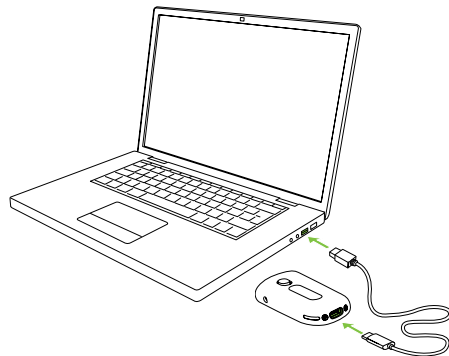
充電器の使用

1. 充電ケーブルの小さい方の端(USB C 型)をロジャー ネックループに差し込みます。
2. 充電ケーブルの大きい方の端(USB A 型)を外部電源に差し込みます。
3. 接続しやすい場所にある電源コンセントに外部電源を差し込みます。



コンピュータ経由で充電

1. 充電ケーブルの小さい方の端(USB C 型)をロジャー ネックループに差し込みます。
2. 充電ケーブルの大きい方の端(USB A 型)をコンピュータの USB ポートに差し込みます。

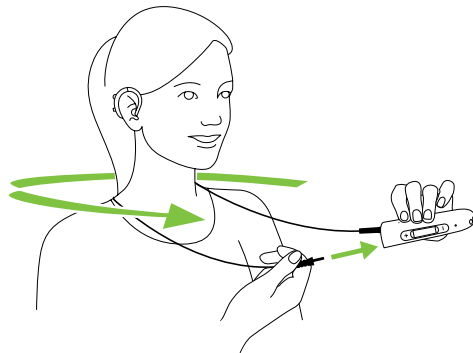


付属の充電器を使用した場合、ロジャー ネックループの充電状態は以下のようになります。

- 1時間後、80%充電
- 3時間後、100%充電
- 完全に充電されると、ロジャー ネックループは10時間以上使用できます。

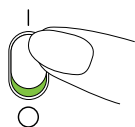
3.2 装用

1. ロジャー ネックループの一番上のソケットに、ループの片方を取り付けます。
2. ループを首の周りにつけ、ループのもう片方をもう一方のソケットに取り付けます。

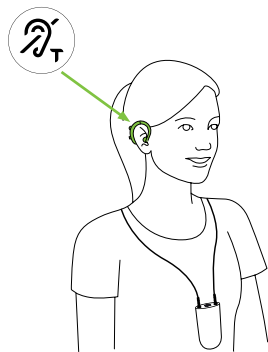


3.3 ロジャー マイクロホンへの接続

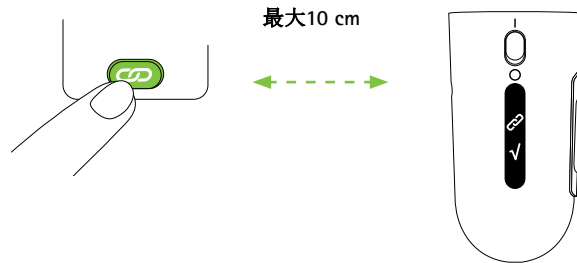
1. ロジャー マイクロホンの電源をオンにします。



2. 補聴器/サウンドプロセッサをT-コイルプログラムに変更します。



3. ロジャー ネックループをロジャー マイクロホンから 10 cm 以内のところで持ちます。
4. ロジャー マイクロホンの Connect(接続) ボタンを短く押します。ロジャー マイクロホンの取扱説明書を参照してください。接続に成功するとディスプレイに表示されます。



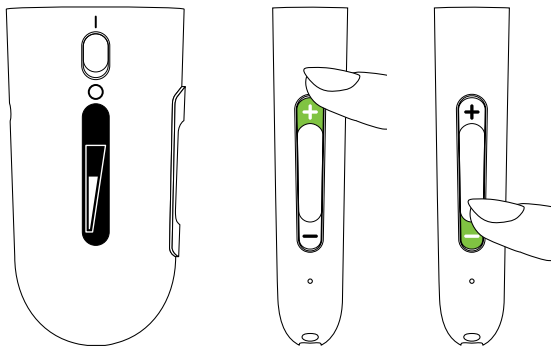
① T-コイルプログラムを補聴器/サウンドプロセッサで有効にするため、聴覚専門家に問い合わせる必要が生じる場合があります。

① 接続は、ロジャー ネックループを初めて使用するときにのみ必要です。ロジャー ネックループを再起動した後も、ロジャー ネックループはマイクホンと接続した状態になります。

3.4 音量調節

音量ボタンを使用して、音量を快適なレベルに調節します。

音量アップ 音量ダウン



4. 音声用に USB を使用

USB ケーブルで、ロジャー ネックループを互換性のあるコンピュータやスマート デバイスに接続し、ロジャー マイクロホンから送信される音声を聞いたり記録したりできます。

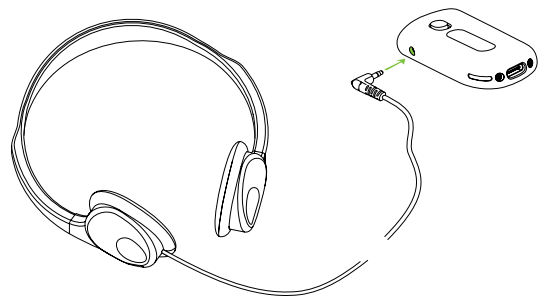
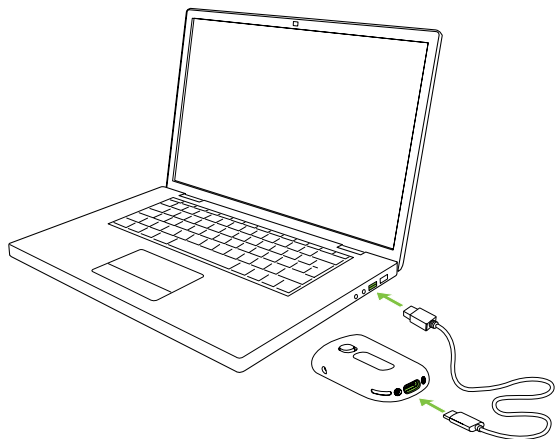
1. ロジャー ネックループを、スマート デバイスまたはコンピュータに USB ケーブルで接続します。ディスプレイに電池アイコンが3秒間表示されます。
2. ロジャー ネックループの電源をオンにします。ロジャー ネックループに音符アイコンが表示されます。
3. スマート デバイスまたはコンピュータで、ロジャー ネックループを音声デバイスとして選択します。



5.受信機の機能状態の確認 (聴覚専門家向け)

5.1 ヘッドフォンの接続

ヘッドフォンを使用して音声をモニタリングできます。聞こえの快適性を最大限に引き出すには、ロジャー ネックループ専用のヘッドフォンを使用してください。



① スマート デバイスまたはコンピュータの正しい設定と互換性情報については、それぞれの取扱説明書を参照してください。

1. ヘッドフォン用ソケットにヘッドフォンを差し込みます。
2. ロジャー ネックループの電源をオンにします。
3. ヘッドフォンを装着します。

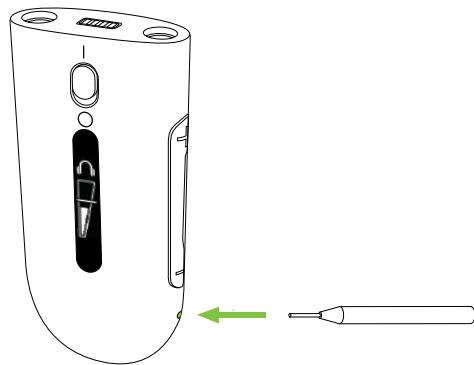
- ヘッドフォンを取り付けると、ネックループからの出力が自動的にオフに切り替わります(電池節約のため)。
- 音量は常に安全なレベルから開始されます。必要に応じて、ボリュームコントロールを使用して音量を増減します(20ページを参照)。

5.2 最大音量の設定

ヘッドフォンで常に快適な聞き取りレベルを保つには、音量制限を有効にして、最大許容音量位置を調整できます。

起動から30秒以内に次の操作を行います。

1. 好みに合わせて音量を調整します。
2. ピンなどを使用して音量制限ボタンを押します。



ディスプレイの水平ラインが表示され、それ以上音量を増大できなくなります。

音量制限を削除するには、ステップ2を繰り返します。



6. トラブルシューティング

状況

ロジャー ネックループのスイッチが入らない。

ロジャー マイクロホンから音が聞こえない。

X印の付いた Connect(接続)アイコンがディスプレイに表示される。

原因

電池切れです。

1つまたはすべてのデバイスがオフになっています。

補聴器のT-コイルが有効になっていません。

ロジャー ネックループがお使いのロジャーマイクロホンに接続されていない。

音量が低すぎます。

ロジャー マイクロホンが消音モードになっています。

1つまたはすべてのロジャー マイクロホンがオフになっています。

ロジャー ネックループがロジャー マイクロホンの範囲外にあります。

解決策

ロジャー受信機を少なくとも4時間充電します。

すべてのデバイス(ロジャー ネックループ、ロジャー マイクロホン、補聴器)の電源がオンになっており、完全に動作することを確認します。

補聴器をT-コイルプログラムに変更します。

お使いのロジャー マイクロホンをロジャー ネックループに接続するには、マイクロホンで Connect(接続)を押します。ロジャー マイクロホンからロジャー ネックループまでの距離は10 cm 以内にする必要があることに注意してください。

音量を増大するには、ロジャー ネックループで「+」ボタンを押します。

ロジャー マイクロホンの消音モードを解除します(マイクロホンの取扱説明書を参照)。

ロジャー マイクロホンの電源がオンになっており、完全に動作することを確認します。

ロジャー マイクロホンに近づけて動作範囲内になるようにします。

状況

音声ストリーミング中に信号が中断される。

ロジャー ネックループの音が悪い。

音量が大きすぎるか小さすぎる。

原因

ロジャー ネックループがロジャー マイクロホンから離れすぎています。

ロジャー ネックループが障害物(人体など)によって遮断されています。

他の機器から生じる電磁界により、補聴器のT-コイルを通じてブーンという音が聞こえる場合があります。

ロジャー マイクロホンが正しく装着されていません。

音量の設定が不適切です。

解決策

ロジャー マイクロホンに近づけて動作範囲内になるようにします。

デバイスの向きを調整し、ロジャー マイクロホンが見えるように配置します。

ブーンという音が停止するまで、電子機器から離れます。

ロジャー マイクロホンの取扱説明書の指示に従って装着します。

音量を好みに合わせて調整します。

7.コンプライアンス情報

欧州:

適合宣言

本製品が医療機器規則2017/745および無線機器指令2014/53/EUに準拠していることを Sonova AG はここに宣言します。EU 適合宣言の全文は、製造業者または地域のフォナック担当者から入手できます。住所については、<https://www.phonak.com/com/en/certificates.html> (フォナックの世界の所在地)のリストをご覧ください。

オーストラリア/ニュージーランド:



R-NZ

ニュージーランドおよびオーストラリアでの合法販売について、適用される電波スペクトル管理(RSM)およびオーストラリア通信メディア庁(ACMA)の規制協定への機器の準拠を示します。準拠ラベル R-NZ は、適合レベル A1においてニュージーランド市場で供給される無線製品を対象とします。

FCC ID: KWCRX23

IC: 2262A-RX23

202-SMI050

規制(EU) 2017/1354に従い、国別の周波数使用要件に関する認可を下記の絵表示に示します。

	BE	DK	FR	IE	LT	MT	PT	SK	SI
--	----	----	----	----	----	----	----	----	----

注記1:



本機器は、FCC 規則第15部およびカナダ産業局の RSS-210に準拠しています。本機器の動作には、次の2つの条件が必要です。
1)本機器が干渉を生じないこと、および
2)本機器が機器の好ましくない動作を生じる可能性のある干渉を含むあらゆる干渉に対応すること。

注記2:

本機器に対し、Sonova AG によって明示的に承認されていない変更または改造を行うと、本機器の操作に対する FCC の認可が無効になることがあります。

注記3:

本機器は FCC 規則第15部およびカナダ産業局の ICES-003 に従ってクラス B デジタル機器に対する制限事項に対して試験されており、それに準拠することが確認されています。

これらの制限事項は、住宅への設置において有害な干渉から合理的に保護されるように設計されています。本機器は無線周波エネルギーを生成し、使用し、また無線周波エネルギーを放射する可能性があります。指示に従って設置され、使用されない場合には無線通信に有害な干渉を生じることがあります。ただし、その干渉が特定の設置で発生しないという保証はありません。機器がラジオやテレビの受信に有害な干渉を生じる場合、これは機器の電源を切ってまた投入するとわかりますが、ユーザーは以下の手段いずれかによって干渉を是正するよう奨励されます。

- 受信アンテナの向きを変えるか位置を変える。
- 機器と受信機の距離を離す。
- 機器を受信機が接続されているのとは違う回路で出力に接続する。
- 取扱店または専門のラジオ/テレビ技術者に問い合わせる。

注記4:



日本の電波法に準拠。本機器は、日本の電波法に従って認可されています。本機器を改造しないでください(改造すると認可された指定番号が無効になります)。

注記5:

FCC/カナダ産業局 RF 放射線被ばく声明
本機器は、非管理環境に対して設定された FCC RF 放射線被ばく限界に準拠しています。この送信機を他のいかなるアンテナや送信機とも同じ場所に配置したり、同時に動作させたりしないでください。

機器が関係する重大事故が発生した場合はすべて、補聴器販売店および居住地域の関係当局までお知らせください。重大事故とは、以下のいずれかに至った可能性のある、または至る可能性のある、あらゆる直接的事故や間接的事故を指します。患者、ユーザー、またはその他の者の死亡。患者、ユーザー、またはその他の者の健康状態の一時的または永久的な著しい低下。公衆衛生に対する重大な脅威。

予期しない動作や事態を報告する場合は、製造業者または販売代理店にお問い合わせください。

機器を日常的にこまめに手入れすることによって、優れたパフォーマンスと長い耐用期間が得られます。長期の保守対応を保証するために、Sonova AG では、各機器の製造中止後も最低5年間の保守対応期間を設けています。

アクセサリーの機能、利点、設定、使用、およびメンテナンスまたは修理の詳細については、聴覚専門家または補聴器販売店にお問い合わせください。製品のデータシートに追加情報があります。

補聴器アクセサリーの修理サービスについては、聴覚専門家にお問い合わせください。

使用目的:

ネックループ受信機は、外部音源へのアクセスの提供を目的としています。

適応: ネックループ受信機は、治療機能や診断機能を提供するものではありません。治療機能は、親医療機器(補聴器や人工内耳など)によってのみ提供されます。親医療機器は、ネックループからの誘導信号を受信してさらに処理します。従って、ネックループ自体には臨床上的適応がありません。

禁忌: なし。

対象: 対象は、一体型T-コイルが搭載された補聴器、人工内耳またはその他の機器を所有する6歳以上のすべての人々です。

技術仕様

RF パラメータ		
動作周波数	<9 kHz	2.4 GHz
最大出力	120 dBuA/m(10 mで)	2 mW
エミッションおよびイミュニティ規格への準拠		
エミッション標準		
干渉電圧 および放射 RF エミッション	EN 55011:2016 (CISPR11:2016/AMD1:2016) グループ1、クラス B	
イミュニティ標準		
静電気放電	EN 61000-4-2:2009 (IEC 61000-4-2:2008) (テストレベル: ±15 kV 気中/ ±8 kV 接触)	
電磁界	EN 61000-4-3:2006+A1+A2 (IEC 61000-4-3:2006+A1+ A2) (周波数: 0.15~80 MHz。テスト レベル: 10 V。 周波数: 80~2700 Mhz。 テスト レベル: 10 V/m、変調 1 kHz、80%AM)	
電磁界 - 近磁場に対する イミュニティ	EN 61000-4-3:2006+A1+A2 (IEC 61000-4-3:2006+A1+ A2) (周波数 (MHz): 385、450、710、745、780、 810、870、930、1720、1845、1970、2450、 5240、5500、5785。 テスト レベル: 周波数、変調パルス、または FM により異なる)	

8.記号の情報と説明

電氣的ファストトランジェント(バースト)	EN 61000-4-4:2012 (IEC 61000-4-4:2012) (テスト レベル: ± 2 kV AC ポート、 ± 1 kV 信号ポート)
サージ	EN 61000-4-5:2014 (IEC 61000-4-5:2014) (テスト レベル: ± 1 kV L-N)
無線周波数 コモンモード	EN 61000-4-6:2014 (IEC 61000-4-6:2013) (周波数: 0.15~80 Mhz。テスト レベル: 10 V、 変調 1kHz、80%AM)
磁場 (商用周波数)	EN 61000-4-8:2010 (IEC 61000-4-8:2009) (周波数: 50 Hz または60 Hz。 テスト レベル: 30 A/m)
電圧ディップ および干渉	EN 61000-4-11:2004 (IEC 61000-4-11:2004) (テスト レベル: 0% (0、45、90、135、180、 225、270、315° で、10,20,5000 ms) /70% (0° で、500 ms)、0% (0、45、90、135、 180、225、270、315° で0.5、1、250/300サイ イクル/70% (0° で25/30サイクル)
電源周波数の 変動	IEC 60601-1 (§ 4.10.2):2005 (テスト レベル: 50 +/- 1 Hz および60 +/- 1 Hz)

① 製品上にない規制ラベルにアクセスするには、ロジャー ネックループを起動しながら、音量ダウンキーを5秒間押します。ディスプレイに表示された情報を切り替えるには、音量ダウンボタンを押します。



CE 記号により、Sonova AG はこの製品(アクセサリーを含む)が医療機器規則(EU) 2017/745および無線機器指令2014/53/EU に準拠していることを表明します。



本機器は医療機器です。



医療機器規則 MDR 2017/745に定義される医療機器の製造業者であることを示しています。



欧州共同体の法定代理人であることを示しています。EC REP は欧州連合への輸入業者でもあります。



この記号は、取扱説明書に重要な情報が含まれること、および製品を使用する前に読む必要があることを示しています。



この記号は、ユーザーがこの取扱説明書の関連する警告内容に注意を払うことの重要性を示しています。



製品の安全性および取り扱いに関する重要な情報です。



搬送温度と保管温度: $-20^{\circ}\text{C} \sim +45^{\circ}\text{C}$
動作温度: -0°C から $+40^{\circ}\text{C}$ 。



水濡れ厳禁。



搬送湿度と保管湿度:
<85% (結露なし)。
動作湿度:
<80% (結露なし)。



搬送、保管、および動作時の大気圧:
700 hPa ~ 1060 hPa。



特定の医療機器を識別する製造業者のシリアル番号を示します。



YYYY-MM-DD

製造日を示します。



梱包材はリサイクル可能です。



製品やその梱包上にこのマークがある場合、これは他の家庭ごみと共に廃棄できないことを意味します。機器はユーザー自身の責任で市の廃棄物とは別に廃棄してください。古い電化製品は、正しく廃棄すれば環境や人の健康に悪影響をもたらさないようにできます。本製品には、内蔵された交換できない電池があります。製品を開けたり、電池を取り出そうとしないでください。けがをしたり、製品を損傷することがあります。電池の取り出しについては、地域の再生利用施設にお問い合わせください。

9.安全に関する重要な情報

🗣️ フォナック ロジジャー ネックループを使用する前に、以降のページに記載されている情報をお読みください。

9.1 危険警告

- ⚠️ ペースメーカーやその他の医療機器を使用する方は、ネックループ受信機を使用する前に必ず担当医師やご使用の機器の製造業者に相談してください。ペースメーカーやその他の医療機器とのネックループ受信機の併用は、必ずペースメーカーの担当医師やペースメーカーの製造業者による安全推奨事項に従ってください。
- ⚠️ 本機器は、3歳未満のお子様にはご利用いただけません。本機器をお子様や認知障害のある方が使用する際は、常に監視下で使用し安全性を保証する必要があります。監視のないところで、本機器をお子様や認知障害のある方に装着したままにしないでください。

- △ 電氣的な危険の可能性があるため、資格のある担当者のみが本機器を開けることができます。
- △ ソノヴァによって明示的に許可されていないこの機器の変更または改造は禁止されています。そのような変更を加えると、装用者の耳に傷害を及ぼしたり、機器が損傷したりすることがあります。
- △ 本機器は、爆発性領域(鉱山や爆発の危険のある工業地域、酸素が豊富な環境や引火性の麻醉薬を取り扱う場所など)では使用しないでください。
- △ 電子機器が禁止されているエリアでロジャーネックループを使用しないでください。
- △ 本機器にはワット時定格が20 Wh 未満のリチウムイオン電池が搭載されています。このリチウムイオン電池は、「国連試験基準マニュアル」の UN 38.3項に従って試験されており、発送の際はリチウムイオン電池の安全な輸送に関するすべての規則および規制に準拠している必要があります。
- △ 機械を操作するときは、ご利用のロジャーネックループのいかなる部分も機械に挟まないようにしてください。
- △ 本機器の製造元が指定または支給したのではないアクセサリ、トランデューサ、およびケーブルを使用すると、本機器の電磁エミッションの増大または電磁イミュニティの低下を引き起こし、不適切な動作につながる場合があります。
- △ フォナックから提供されたものではないその他のヘッドフォンを使用すると、有害な音圧レベルを超える場合があります。聴覚障害に至らないように、長時間にわたり大音量で聞かないでください。
- △ 充電器については、IEC 62368- および/または EN60601-1認証機器のみを、入力定格240 VAC 最大、出力定格5 VDC、500 mA 最小で使用してください。
- △ 不適切な動作につながる場合があるため、本機器を他の機器と隣り合わせたり積み重ねたりして使用することは避けてください。その

ような使用が必要な場合は、本機器と他の機器を監視して、これらが正常に動作していることを確認する必要があります。

- △ 充電中はロジャー ネックループを装用しないでください。
- △ IP22携行バッグなしに製品を屋外に持ち出さないでください。
- △ ポータブル RF 通信周辺機器(アンテナケーブルや外部アンテナなど)は、製造元が指定したケーブルを含め、ロジャー ネックループのどの部分にも30 cm より近づけて使用してはなりません。従わなかった場合、本機器の性能劣化につながるおそれがあります。

9.2 製品の安全に関する情報

- ① ロジャー ネックループは、在宅医療環境での使用に適しています。
- ① 本機器には、取り外しのできない内蔵型充電式リチウムポリマー電池が搭載されています。

- ① 充電器の USB ポートは、記載された目的にのみ使用する必要があります。
- ① 機器を熱源から保護してください(決して窓の近くや車内に放置しないでください)。機器を乾燥する際に、電子レンジやその他の加熱機器を絶対に使用しないでください(火災や爆発の危険のため)。適切な乾燥方法については、担当の聴覚専門家にお問い合わせください。

9.3 その他の重要な情報

- ① 高出力電子機器、大型の電子装置、金属構造は、ロジャー ネックループの動作範囲を損なったり、大きく低下させることがあります。
- ① ロジャー ネックループは内部技術データを収集し、保存します。聴覚専門家は、このデータを読み出して機器をチェックし、ユーザーが機器を正しく使用できるようにすることができます。
- ① ロジャー ネックループを各種ケーブルに接続するときは、力を入れすぎないように気を付けてください。

10.お手入れとメンテナンス

機器の清掃

清掃には、乾燥し糸くずの出ない布を使用することをお勧めします。必要に応じて、表面を石鹼水で洗浄できます。ただし、水滴が滴らないように布を湿らせて、湿気が機器の内部に入ることのないようにしてください。溶媒やシンナーなどの腐食性物質は、表面を損なうので使用しないでください。

11.サービスと保証

11.1 日本国内における保証期間

日本国内における保証期間については、機器を購入した販売店にお問い合わせください。

11.2 国際保証

フォナックでは、ご購入日から1年間有効の限定国際保証を提供しています。この限定的保証は、製造上および材料上の欠陥を対象とします。また、購入証明が掲示された場合にのみ有効です。

国際保証は、日本国内における保証や消費者製品の販売を管理する適用可能な国の法令の下にユーザーが有する法的権利には一切影響しません。



製造元:

Sonova AG

Laubisrütistrasse 28

CH-8712 Stäfa

Switzerland

www.phonak.com

EC

REP

Sonova Deutschland GmbH

Max-Eyth-Str.20

70736 Fellbach-Oeffingen

Germany



029-3299-17/V1.10/2020-12/NLG © 2020 Sonova AG All rights reserved

sonova
HEAR THE WORLD

